

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学：パリ西ナンテールラデファンス大学
留学先での所属学部・研究科：社会学部
留学先での在籍身分：学部3回生 交換留学生
留学期間：2014年9月～2015年6月
神戸大学での所属学部・研究科：国際文化
学年（出発時）：3回生
本報告書記入日：2015年8月3日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：9月15日

学年終了月日：6月27日

学期：

①9月15日～12月12日

②1月19日～6月27日

③__月__日～__月__日

④__月__日～__月__日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

パリ市の北西に位置するナンテールにある比較的新しい大学で1968年に世界各地に影響を与えた五月革命（通称 学生革命）の発端となった大学。大学図書館の横には当時の状況を参照できるように新聞やテレビ番組などの資料庫が複合されている。学部は歴史学や政治学が有名であるが、サルトルが教鞭をとった大学としても知られる。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

フランス語の授業を学期ごとに3つ履修できる。ただし後期は有料で260ユーロ払わなければならない。語学集中コースは締め切りが早く高額なので要確認。

勉学面でのサポート：

全体としてのサポートがあったわけではないが、語学の先生や留学担当者の方が不安なことや勉強に関しては親身に相談に乗ってくれた。

精神面でのサポート：

必要としなかったからか、特になかったように思う。

住居・生活面でのサポート：

留学前に大学側が寮の斡旋をしてくれたため不安はなかった。留学先大学の専用の寮ではなかったが、連携が取れており、環境・治安共に良かった。

課外活動のサポート：

留学前オリエンテーションに参加しなかったため、確かではないが、サークルや部活動の紹介などはなかったように思う。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

パリ市からセーヌ川を隔てて西に位置するsaint-cloudにある寮で無線LANのwifi代込で464ユーロ。人によるが私はcafを196ユーロもらえた。ベッド・机・キッチン・冷蔵庫・シャワー・トイレは部屋にある。洗濯機は共用。駅の目の前にあり、スーパーや郵便局もすぐ近くにあり、治安もよく大変暮らしやすかった。同じ通りに学校のメディア学部の図書館があるが、ナンテールまでは電車で30分。市内までは50分程度。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

学校の手続きの際に200ユーロほど保険に支払った。銀行口座開設の時は無料で住宅保険がつき、寮では別の住宅保険加入が義務で月10ユーロほど引き落とされていた。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

私が留学した年から無線LANのWifiが導入され、料金は家賃に含まれていた。部屋の位置にもよるが私は問題なく使えた。登録には携帯電話の番号が必要。

大学でのPCの使用の可否：□使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学図書館の各階にwindowsのパソコンが約10台ずつあった。家の近くのメディア系図書館にはMacが20台ほど置いてあった。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

行かなかった。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

特になし。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

新生銀行でキャッシュカードを契約した。ネット上の振込みが手数料0なので、親にも契約してもらい、ネットで主に管理していた。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

基本的に勤務時間外やお昼休みは100%働かないことや待ち合わせにルーズなことは初めの内は大変だがすぐ慣れるので問題ない。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

パリ7に留学している国文生とも仲が良かったので遊びに行く際にパリ7の現地学生と仲良くなった。他はパリで日本語を勉強している方々と食事したりもしていた。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

しなかった

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

きちんと自分で警戒していれば危険な目に合うことはないと思うが夜中に一人で出歩くことはあまりお勧めしない。フランス人は陽気で外国人慣れしているのでちょっと見られるくらいでそれほど目立たなかったと思う。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

しなかった

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO , 80000 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

日本国大使館にオンラインで在留届を出すと受信できるメールは、テロの際に確実な状況を知るにはとても便利だった。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

延長コード、文房具（和食は基本的にオペラで手に入る）

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（ ） 点→帰国後（ ） 点

現地に住んでいれば、電子辞書には出てこないような若者用語やフランス語の簡略化やメールの書き方などを知る場面が多くあり、語学力の向上は確実に見られたと思う。異文化理解については、旅行だけでは経験できない諸手続きや住民と話す機会の多さから考えてもフランスという国やそこに住む人々に関しては多くのことを知れたと思う。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

持ってきたVISAのクレジットカードの磁気が壊れて、会社に電話したところ破棄するしかなかったのので、日本からクレジットカードを郵便で送ってもらうという少し怖いことをしました。が無事届いて使えたので良かったです。クレジットカードはVISA,Masterから2枚は持つておくべきだったと思っています。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

全体的に適切でした。が、国際交流課の担当者の方が留学中に4度ほど変わり人によって対応に差があったのが唯一気になりました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。交換留学の経験が自分にとってマイナスになることはまずないと思います。私の場合初めての一人暮らしを海外で経験し、現地の大学生として生活できたことは自分にとって確実にプラスであったと思っています。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	人類学	Albert Piette	120 分	3	40	講義形式。最終レポート10枚
2	社会学	Sylvaine Conord	120 分	3	20	ゼミ形式。グループ発表と最終 レポート10枚以上。
3	仏文法2	Zineb Laadj	120 分	3	30	留学生向け。提出物、最終試験 あり
4	オーラル2	Emmanuell e Sauvage	120 分	3	30	個人発表、ミニテスト、最終試 験
5	フランス文 化	Richard Besqueut	120 分	3	15	隔週で課外授業。展示会や歴史 的建造物訪問。最終試験あり
6	オーラル3	Jeanne Gaugenot	120 分	3	30	個人発表、最終グループ面接あ り。参加態度重視。
7	フランスの 文化的生活	Véronique Marcillac	120 分	3	25	裁判傍聴やワイン博物館訪問な ど。予習と最終レポートあり。
8	映画と舞台	Nicolas THYS	120 分	3	30	毎回2人1組でレポート提出、 最終レポートと試験あり。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

私が選択した授業は大講義でも40人程度で教授と学生の距離が近く、時には授業内容に関して学生が突き詰めて質問し教授が生徒に説き伏せられる場面もあった。成績評価はレポート10枚程度が多いが、個人的に相談すればテーマ変更を許可してもらえたり措置を講じていただけた。現地学生は課題はやってこないが授業中に発言する人が多く、日本の大学の授業とは少し違う一面が見れた。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃：17万
 - ・住居費：（月額）4万 ×（留学月数）10ヶ月 = 40万
 - ・食費：（月額）3万 ×（留学月数）10ヶ月 = 30万
 - ・保険料：12万
 - ・その他：旅行、交際費50万
- 合計：約150万円（留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。(800字～)

フランスで過ごした約10ヶ月は私にとって一生忘れられない刺激的な日々でした。最初から言語ができていたわけではないので最初は電子辞書を常に携帯し、周りにビクビクしてたように思いますが、最後は話せばなんとか通じるでしょと思うようになっていて、家の近くの郵便局やスーパーのおばちゃんとの雑談をすごく楽しんでいました。寮は設備整い過ぎているくらいで、神戸の一人暮らしと環境は変わらないと思います。正直居心地が良すぎて家にこもってしまいたいくらいでしたが、定期券があれば市内に行けるし、図書館も同じ通りにあり、散歩やピクニックに最適な大きな公園も近くで、ヴェルサイユ宮殿も電車一本で行けるのでアクティブに行動することが大切です。寮母さんも大学の担当者の方もとても感じのいい方で、行くといつも「最近元気にやってる?」と聞いてくれ初日の緊張がかなり和らぎました。実際に協定先の大学に入学することは、語学留学では経験できないことがたくさんあります。講義中にフランス語でノートをとることがこれほど困難だとは...!パリ10は日本語学科がない分自分で友達を作ることが大切です。テスト前に友達がいなかったらどうなっていたことか。日本の大学生生活に比べてパリ10での留学生活は開放的で、学生の意見や主張が活発でした。休日になるとパリ市内で友達と待ち合わせて公園でピクニックしたり買い物したりお散歩しながらおしゃべりしたり。一人でふらっとルーブル美術館に行ってみたり。留学生活中はバイトもしてなかったので90%は自分のしたいことができる、日本にいた時とは少し違うゆったりとした生活ができました。もちろん試験前は図書館にこもりっきりでした(笑)私の報告書に目を通してくださっている方で交換留学に行こうか迷っている方には是非チャレンジしてみてください。交換留学に関するデメリットが思いつかないので!もちろん資金の問題などはあると思いますが、そこは保護者の方との話し合いが必要であると思うのですが、それを乗り越えてでも行ってみる価値はあります。銀行口座開設、住宅補助申請、学校や寮の手続き、住居保険加入、定期券の申し込み、移民局申請、たらい回しはフランスの洗礼です。楽しむくらいで辛抱強く頑張りましょう!付け加えるなら、留学生活での思い出の1つに、他の国への旅行があります。日本に比べて格段に周辺国へのアクセスがしやすいので、私は結構旅行しました。フランス語圏も英語圏も。旅行するために留学に行ったのかと言われそうなほど。でも写真やネットで見たものと実際に足を運んで目にするのでは全く違います。フランスに居を構えているという貴重な体験を折角しているのです。この機会に周辺国とフランスのギャップを感じることもでき、100%日本人目線で見られるのではなく少しはフランスを比較対象にできたことが収穫でした。「異文化」「異なる価値観」を実際に肌で感じれたことは本当に良い機会でした。ここまで目を通してくださってありがとうございました。交換留学を考えている方にとってこの報告書が何かのお役に立てていれば嬉しいです。